

新しい年を迎えて

飛島村長
加藤 光彦

あけましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症の終息が見えないなか、新たな変異株が確認され感染が拡大したほか、ウクライナ問題や世界的な物価高騰などによって生活不安が続いた1年となりました。

一方、コロナ禍でも開催方法を工夫しながら、夏まつりや村民体育祭等、様々なイベントを3年ぶりに開催した1年でもありました。規模は縮小しつつも、村民の皆さまのご理解とご協力のおかげでコロナ禍前に近い活気を取り戻すことができたと思います。本年も開催が可能なイベントを積極的に実施するよう取り組んでまいります。

さて、本村では、村の最上位計

画である第5次総合計画の策定に取り組んでまいりました。いよいよ本年4月からこの計画がスタートします。村民の皆さまの幸せを第一に考え、災害に強く、活気と魅力にあふれ、人づくりを大切にする村を実現するための計画となります。村職員が一丸となって計画の達成に向けて努力し、各種施策を実施してまいりますので、村民の皆さまにおかれてもご協力を賜りますようお願い申し上げます。

とりわけ昨年度初めて企画、実施しました「飛島ふ頭クルーズ」も、本年はさらに拡充して実施してまいります。全国12都市が工場夜景観光の魅力を発信している全国工場夜景都市協議会を通じて、今まで以上に本村の魅力を全国に向けて発信し、「活気と魅力ある村づくり」を進めてまいります。

村民の皆さまの住みやすさという面でも、高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援等の拡充を図り、皆さまの不安をひとつずつ解消していけるように、全力を尽くしてまいりますので、今後とも皆さま方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も皆

さまた方のご繁栄とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

令和5年 元旦

新春を迎えて

愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、愛知県政150周年を迎える中、スタジオジブリの作品群を凝縮した「ジブリパーク」が開園した記念すべき年となりました。

さらに、国際芸術祭「あいち2022」の成功、愛知国際アリーナやSTATION Aの工事着手など、これまでに積み上げてきた愛知の力を礎に、更なる飛躍に繋がるビッグプロジェクトを着実に前進させ、愛知が「躍進」する1年となりました。

世界は、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展、カーボンニュートラルを目指す潮流などにより、大きく変化をしています。愛知県が日本の成長エンジンとして、活力を生み出していくためには、こうした時代

の波を乗りこなし、イノベーション創出に挑戦していかなければなりません。

今年も、海外の有力スタートアップ支援機関等との連携強化を図りながら、愛知のモノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、イノベーションを次々と生み出す「国際イノベーション都市」を目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立、社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上に力を注いでまいります。

来年度、ジブリパークでは、「もののけの里」と「魔女の谷」が開園します。「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信してまいります。「日本二元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和5年 元旦